

第63回 日本消防協会定例表彰式が開催



2・3月号

発行所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内 財団法人茨城県消防協会 編集発行人 葉梨 衛 印刷所 富士オフセット印刷機 (1部 15円)



特別功労章を受章する葉梨会長

平成二十二年度の日本消防協会定例表彰式が、二月二十四日(木)、ニッシーホールにおいて厳粛かつ盛大に挙行されました。

式典には、消防業務に特別の功労があった者(全国で十名)だけに贈られる「特別功労章」を受章した本協会の葉梨会長のほか、受章者を代表して次の方々が出席されました。

特別功労章(1名) 茨城県消防協会会長 葉梨 衛

外二十九名 ○勲章(七十四名) 水戸市消防団 分団長 吉原 孝則 外百四十二名 ○優良婦人消防隊(表彰旗)(二隊) 常陸大宮市婦人消防隊

外七十名 ○動員員(二二八名) 水戸市消防団 分団長 小室 文 隊長 金子 聖子

小・中学生を対象とした火災予防ポスターコンクールの表彰式が、二月十八日(金)県庁第一応接室で開催され、橋本知事から表彰状が授与されました。

このコンクールは、茨城県幼年婦人防火委員会(会長・橋本知事)の主催で毎年行われ、一月十九日に開催された「ポスターコンクール審査会」において、入選作品が決定しました。

表彰式(左から小林卓磨さん、橋本知事、勝田真央さん、磯原勉さん)

「ポスターコンクール審査会」において、入選作品が決定しました。

日本消防協会主催・消防団幹部候補中央特別研修に阿見町と笠間市の消防団員が参加

日本消防協会主催で、第十回消防団幹部候補中央特別研修が、次の日程で実施されました。

平成二十三年二月八日、十日(二泊三日) (参加者) 阿見町消防団 部長 高橋 聡 班長 高倉 正樹 団員 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝 阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

平成二十三年二月八日から十日に行われた二泊三日の日本消防協会中央特別研修会に参加させて頂きました。

初日終了後は懇親会もあり「消防団員としての初対面の人とこれだけ早く打ち解けられるの」という具合の早さで打ち解けあい「じゃあ、この研修をいよいよ盛り上げていこう」という熱い消防団員の花が咲きました。

研修は、秋本理事長による「講話」をはじめ、様々な内容の講義をいただきました。私が特別印象に残ったのは、財団法人長野県消防協会と、五十嵐様との消防団員への訓練指導、在り米海軍

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

研修は、秋本理事長による「講話」をはじめ、様々な内容の講義をいただきました。私が特別印象に残ったのは、財団法人長野県消防協会と、五十嵐様との消防団員への訓練指導、在り米海軍

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

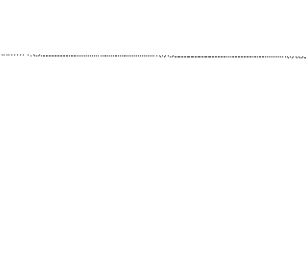
阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝

阿見町消防団 野本 佳孝



研修に参加した笠間市消防団(左から近藤さん、柴沼さん)

茨城消防

平成23年3月15日 (2.3.6.8.10.12月15日発行)

平成二十二年全国消防団員 意見発表会で常総市消防団の 飯塚分団長が見事準優勝

「この意見発表会が、就業機
造や社会環境の悪化により、
消防団員の減少や高齢化など
様々な問題に直面する中で、
各地域で活躍する若手・中堅
消防団員に消防団活動に関す
る課題等について意見発表を
してもらい、全国に紹介する
ことにより、消防団活動の一
層の推進と活性化を図る目的
で、消防団が毎年実施してい

常総市消防団 飯塚 義裕

先輩三人が消防団への勧誘
に来ました。三人とも紺色の
活動服に身を包み、胸には階
級章と名札。今までは階級
章と名札。今までは階級章と
名札。今までは階級章と名札
を覚えています。二十三年の
春でした。

以来、消防精神に基づき、
地域住民の生命・身体・財産
の保護と、安全・安心な生活
の確保に、自分なりに努力を
してきたと自覚しております。

私の所属する茨城県常総市
消防団は、機法訓練に力を注
いでおり、その結果、最近で
は、全国消防団法大会ボクソ
車の部に三回の出場を果たし
ております。特に、平成十八
年度の大念には、私も指揮者
として出場したのですが、目
標に届かず準優勝。「今年度
こそ団長に優勝旗をプレゼント
しよう」と常総市に優勝の土産
を持って帰ろうと、全国
消防団の合言葉「指導員として
訓練に励んだ昨年の大会も、
残念ながら成果が挙げられず
準優勝に終わった。全国でいっ
ぱいの高さを痛感したことが、

この意見発表会では、就業機
造や社会環境の悪化により、
消防団員の減少や高齢化など
様々な問題に直面する中で、
各地域で活躍する若手・中堅
消防団員に消防団活動に関す
る課題等について意見発表を
してもらい、全国に紹介する
ことにより、消防団活動の一
層の推進と活性化を図る目的
で、消防団が毎年実施してい

昨年わが団でも女性消防団
員を採用し、市民に対する心
急指導講習会を実施するな
ど、活動範囲もたいぶ広が
り、消防団も活性化され
ております。

私は、消防団の幹部として
今後も幹部講習等で機法別消
防団の導入などを提案し、積
極的にこのような課題の解決
に当たってまいりますと誓
っております。

最後は、私の出身部の「新
石下消防団歌」の一部を紹
介します。

筑波の屋根に月芽を
北風ささぐ鬼怒川に
刺子の袖が凍るとも
身は民家の盾となる
あゝ新石下の消防団
名は天地に輝かん

「すれども、社会環境
生活の変化と共に、それに
応じた消防団の活動や、組織
の在り方を検討すべき時代に
入っている事は事実です。の
で、最近、話題となっている
機法別消防団による、大規模
災害時の迅速な機法別
消防団、消防団のOBで組織
する機法別分団等も近い将来
には取り込まれると頭われ
ます。



意見発表する飯塚分団長

消防職員意見発表会を開催

茨城県消防協会主催の第
三十四回全国消防職員意見発
表大会が平成二十三年
二月二十三日(火)に土浦市
で開催されました。

県内各消防本部から一名が
出場し、真摯な熱意あふれる
発表会となりました。

最優秀賞 日立市消防本部
村田 晴明
「沈みゆく命を救うために」

優秀賞 波見 米司
「安心、安全の街づくり」

優秀賞 飯塚広域消防本部
飯塚 義裕
「自助・共助として公助の
ひたちなか市消防本

私が中学生だった頃、先生
から「みんなが住みたい街
ってなに?」と聞かれた。多
くの生徒は「安心して安全
に暮らせる街」と答えていま
した。しかし、「どうしたら
安心して安全に暮らせる街に
なるかな?」という質問に
答えられる生徒は少なかった
と思います。

今の中学生は、地域の中で
日常生活を過ごしていきま
す。そんな中、実際に災害
に直面したとらでしよう。
いかに体力や行動力がある
といっても、災害に対する知
識や心構えがなく、特別な訓
練を積んでいなければ、パ
ニックに陥るとはいえませ
ん。また小中学
校で行う防災訓練の多くは
避難訓練にとどまっているた
め、中学生にも必要のマン
ネリ化した訓練には興味を示
さず、まして地域の防災訓練
に参加する気持はほとんど
みられません。防災の貴重な
マンパワーとなる中学生
が、大規模災害時に力を発揮

できないのはとても悔しが
ります。
そこで私は、中学生のため
の防災教育を三つ提案しま
す。一つ目は、防災訓練の発
想を転換することです。従来の
地震、火災発生、即、避難す
る内容から初期消火、応急救
護へと改め体験型の訓練とし
て、身につけていくのです。
災害で最も怖いのは火災で
す。いかに初期段階で消火
するかがポイントであり、そ
れと並行して応急救護も重要
となってきます。そこで一年
生は、消火器や屋内消火栓を
使った消火訓練を、二年生は
けが人の救護のための止血法
や固定方法、さらに心肺蘇生
法を身につけます。三年生は
まごころで、地域の防災訓
練に参加するよう促してい
たいです。住民と連携しながら交流を図
ることで、災害に強い立場の
方々を助け合い、支えあっ
て、防災のマンパワーを育
んでいきたいと思います。

防災活動隊が、近隣の家や高
齢者宅などを訪問して住宅用
火災警報器の重要性を説明し
、設置の普及に努めるはず
です。
このようにして、防災力を
身につけた中学生は近い将
来、災害に強い住民パワーを
持った一員として地域に根づ
くはずで、大規模災害で
は、消防署や消防団の活動に
頼るだけでなく、地域の人々
が一人でも多く協力し、一丸
となって災害に立ち向かう姿
勢こそが災害に打ち勝つ原
動力となるはずです。

「あなたも安心して安全に
暮らせる街に住んでいま
すか?」その質問に自信を持
って「はい」といえる街を自
信して、これからも防災教育
に取り組んでいきます。

「あなただけが安心して安全に
暮らせる街に住んでいま
すか?」その質問に自信を持
って「はい」といえる街を自
信して、これからも防災教育
に取り組んでいきます。



意見発表する波見副団長

平成二十二年 度消防関係者叙勲・ 褒章等受章祝賀会

当協会主催の消防関係者叙
勲・褒章等受章祝賀会が、平
成二十三年二月二十三日(火)
に、水戸京成ホテルで開催
され、受章者並に消防団
関係者総勢八十四名が出席
し、先達のご功績を讃え
ました。

当日は、大盛況でいっ
ぱい出席頂いた本報知事
並びに飯塚分団長副団長
からご挨拶を頂戴し、その



授章式の様子

トキワ産業株式会社
水戸市東原3-6-24
TEL.029(224)3324代
FAX.029(224)3360

Panasonic
自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCX設備
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特約商品代理店
株式会社入江電機工業所

本社 ☎310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614(代表)
FAX.029-224-4613
千波営業所 ☎310-0851 水戸市千波町海道付2027番地
TEL.029-241-3636(代表)
FAX.029-244-0540
土浦営業所 ☎300-0061 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498(代表)
FAX.029-822-6575

10mから50mモリタの梯子車
モリタの技術と設備は20種類以上の消
防防災、総ての車を造ります。
完全水冷ラジエータ式、強制空
冷式シパウラ小型消防ポンプ
SFシリーズ、TFシリーズ独特の2
本立で総ての機能をもっています。

消防・防災用品全般、火の見櫓
撤去・移設、ホスポール建立

茨城県代理店
(有) 鈴 機
石岡市国府5-2-25
TEL.0299(22)3010 FAX.0299(22)5846

編集後記
このたびの東北関東大震災
にたいして被災された皆様
にたいして心からお見舞い申し上げま
す。一日でも早く日常を取り
戻せましてを祈ります。

後、瑞雲双光堂を受章された
元常総市消防団長の菅藤衛
氏が、受章者を代表して謝辞
を述べられました。
祝賀は限られた時間ではあ
りましたが、先達へのお祝
いでご挨拶を頂きました。

い言葉をお互いの近況など
が語られ、終始和やかな雰囲
気でご挨拶を頂きました。

後の発行となりました。発行
にあたり、ご協力頂きました
（特に寄稿頂いた）皆様に
改めてお礼申し上げます。
来年度も変わらぬ、各種
情報をお寄せ頂きますよう、
よろしくお願い致します。

（次）